2種の沖縄島未記録の蝶

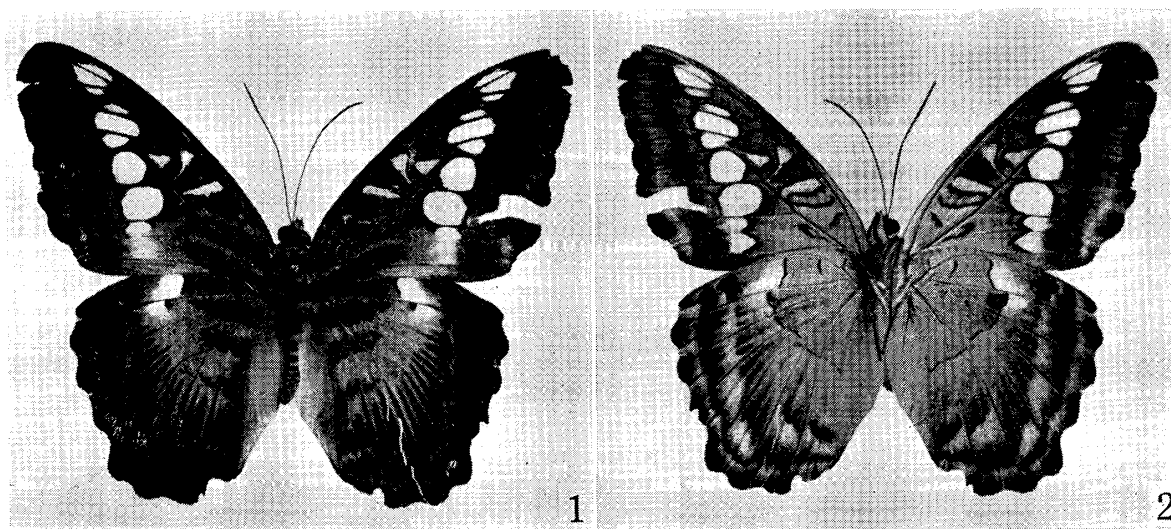
長嶺 邦雄[1)]

Two Unrecorded Butterflies from Okinawa Island

By Kunio Nagamine

最近，沖縄本島から2種の未記録の蝶が採集された．これらを本誌上をかりて発表したい．この小文を綴るにあたり大事な標本を心よくゆずって下さった与那城義春氏，儀間進氏に謝意を表すると共に，両氏の功績を特筆したい．また日頃御懇切な御指導及び同定を頂き，今回はこの報文の発表をすすめて下さった九州大学白水隆先生に厚く感謝の意を表します．

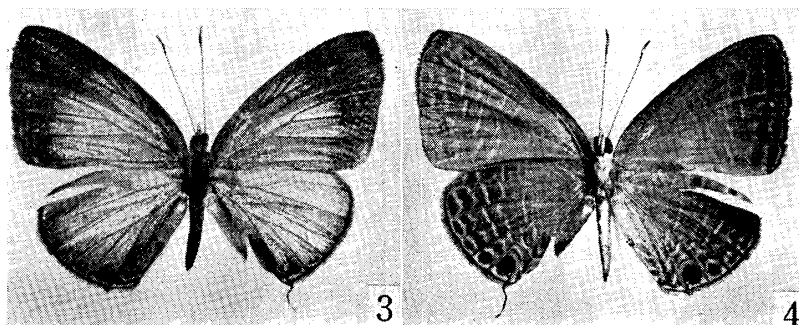
1. *Parthenos sylvia philippensis* Fruhstorfer トラフタテハ (Figs. 1—2, ♂)

この種は1961年7月4日，琉球大学構内のデイゴの木にとまっているものを生物学科学生の与那城義春君が採集したもので，同科の西平守孝氏より「みかけない蝶を採った」との連絡があったので行ってもらい受けて来たのがこれである．白水先生の同定により本種名が判った．白水先生の御教示によりますと，これはイチモンジチョウ亜科に属し，日本，琉球，台湾では未記録．フィリッピン方面から来た迷蝶だろうとのことです．珍らしいもののようですので発表します．

Parthenos sylvia philippensis Fruhstorfer ♂, Naha, Okinawa, 4. VII. 1961
(Fig. 1 表面，Fig. 2 裏面) (開張80mm)

2. *Jamides bochus ishigakianus* Shirôzu ルリウラナミシジミ (Figs. 3—4, ♂)

この種は1958年10月29日，那覇市東町で儀間進君により採集されたものである．この標本は昨年春，標本の整理をしている時アマミウラナミシジミの標本中に混じているのを発見，早速発表しようと思っていましたが，つい機会を逸して今日に及んだ次第です．

本種の確実な分布北限は八重山群島で，沖縄以北での記録は屋久島で1953年11月に10♂13♀が採集されておりますが，これは迷蝶が一時的に発生したものだろうとの事です．沖縄島からは未記録と思いますので発表します．尚，この標本にもとづいたと思われる報告に誤りがあるので訂正させていただきます．

1) 沖縄那覇市字松尾75

Jamides bochus ishigakianus SHIRŌZU ♂, Naha, Okinawa
29. X. 1958 (Fig. 3 表面, Fig. 4 裏面) (開張30mm)

1)このは会会報，第2号の43頁，アマミウラナミシジミの採集例，2) SATSUMA，第24号の28頁，ルリウラナミシジミ（1958・X・27 首里）（福田晴夫氏の沖縄採集旅行記Ⅲの報文中）．前者は種名同定の誤り，後者は採集日，採集地の誤り．

日本鱗翅学会台湾訪問団　帰国

中華植物保護学会の招待により昭和36年6月19日大阪伊丹空港をＣＡＴ機で出発した一行7名（団長：白水隆，団員：六浦晃，緒方正美，春木実，桒凱彦，若林守男，萱島泉）は同日台北に到着，以後島内を一周し，諸施設を訪れ，各地で鱗翅類及びその他の昆虫類，クモ類を採集して，7月16日ＪＡＬ機で再び大阪伊丹空港に帰ってきました．十分ではないにしても本会から出た昆虫関係の海外調査団の第1陣がこのように成功したことは誠に喜ばしいことで，国際親善上，又昆虫学上いささかでも寄与し得たことと信じています．出発に際し種々御配慮下さった各位にはここに感謝の意を表する次第であります．

一行は台北から台中を経て埔里につき，霧社，タッタカ，南山渓，本部渓で採集し，再び埔里へ戻り，ついで日月潭を経て溪頭に向いました．溪頭から台南へ，そして高雄，屏東を経て楓港から東海岸へ出て，台東に達し，知本（チポン）温泉で採集．それより北上して花蓮に達し，タロコ渓の天祥を訪れて後，さらに北上して蘇澳，羅東を経て礁溪につき，そこから台北へ帰り，全島を一周しました．その後は烏来，リモガン，マガンにでかけて，再び台北に戻り，帰国の途につきました．

訪問見学した主な施設は国立台湾大学農学院，農業試験所（以上台北），省立農学院（台中），台湾大学実験林（溪頭），糖業試験所（台南）等であります．

また7月14日には台湾大学農学院において公開講演会を開催，白水隆，六浦晃，萱島泉の3氏の講演及び若林守男氏のカラースライド映写を行いました．なお訪台中は関係諸機関から好意にみちた配慮をうけ，又一般の人々からも非常な歓迎をうけました．台湾大学の易希陶教授はじめ，あらゆる方面の各位に深甚なる謝意を表する次第であります．

今回の訪台団は滞在期間が僅かに1ケ月であった上，招待の関係で予定にも制約があり，十分な採集ができたとはいえませんが，鱗翅類については若干の新知見が得られ，又同時に採集した他の昆虫，クモ類にも新種，未記録種がかなりある模様です．これらの成果については各専問家に研究を依頼し，その結果を一括して特別報告を出版する計画であります．又旅行記録は「やどりが」に掲載致します．

左より六浦，春木，若林，白水，桒，緒方，萱島の各氏（大阪伊丹空港にて）

日本鱗翅学会会報"蝶と蛾"
日本鱗翅学会
大阪市東区今橋3丁目18　緒方病院内
振替口座京都15914番　電話 北浜 (23) 3255 代
1961年10月20日

Published by
The Lepidopterological Society of Japan
c/o OGATA HOSPITAL No. 18, 3-chome
Imabashi, Higashiku, Osaka, Japan.
20. October, 1961